

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 電話・移送サービス事業
-------------------	--------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	2	高齢者福祉の確立
小分類	2	高齢者福祉の充実
主要な施策	2	ひとり暮らし老人の支援
事務事業番号	002	事務事業コード 13222002 事業開始年度 平成 5 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	電話・移送サービス経費
------	------	------------	-------------

部 名	保健福祉部	グループ名	高齢・介護G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>移送サービス：高齢者の外出支援を行うことにより要介護状態になることを未然に防止し、自立した生活を維持する。 電話サービス：電話かけにより安否確認、健康状態や生活状況を聞き孤独感を解消し、生活の質の向上を図る。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>移送サービス ・老人福祉センターを利用する高齢者に対し、送迎用バスによる移送サービスを行う。 ・送迎用バスに介助員を添乗させ、利用者が安全に乗降等できるよう便宜を図る。 電話サービス ・高齢者に対し、定期的に電話をかける。</p>
成果	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>移送：送迎バスによる高齢者の外出支援を行うことにより、閉じこもり防止や自立生活の維持に成果がある。 電話：電話かけによる独居高齢者等の孤独感の解消に成果がある。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登別市ひとり暮らし老人等電話サービス事業実施要綱</li> <li>・登別市移送サービス実施要領</li> </ul>

指標の推移

成果指標	区分	単位	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
			目標値	実績値	実績値	実績値	実績値	
	バス送迎利用者数（延人数）	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績値	2,750	/	/	/	/
	電話サービス利用回数（延回数）	回	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	789	/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	934	954	952	952	952	2,856
合 計				934	954	952	952	952	2,856
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	66	68			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		66	68			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 移送：市の運行する福祉バス利用者に対するのサービスであるため。 電話：民間で事業を実施している事業者はなく、また、民間で行う可能性も低いため。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 移送：送迎バスによる高齢者の外出支援を行うことにより自立生活の維持に成果がある。 電話：電話かけにより、孤立しがちな独居高齢者等の孤独感の解消に成果がある。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 事業周知を図ることで、成果の向上を図ることが出来る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 最低コストで事業を行っており削減は難しい。

担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	移送：在宅高齢者の外出支援を行うことにより要介護状態の未然防止や自立した生活の維持が図られている。 電話：電話かけにより安否確認及び孤独感の解消が図られている。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）